

設置者に関する情報		
名称及び所在地	学校法人 松山学院 愛媛県松山市北久米町 815	
法人の代表者	松山学院 理事長 小泉 泰方	
財務諸表	本校事務室までお問い合わせください。	
福祉系高等学校等に関する情報		
名称及び所在地	松山学院高等学校 愛媛県松山市北久米町 815	
校長	吉田 慎吾	
開設年月日	平成 21 年 4 月 1 日（福祉系高等学校として指定）	
学則等	別掲	
施設設備の概要	別掲	
	図書の数 20,116 冊（うち福祉関連図書 2,191 冊）	
養成課程に関する情報		
教育課程表	学則のとおり	
定員	学年 40 名	
入学までの流れ	学則のとおり	
費用	学則のとおり	
教員数	福祉科教員 5 名、医療的ケア担当教員 1 名	
科目別担当教員	科目	担当教員
	社会福祉基礎	森岡 健治
	介護福祉基礎	小林 由花
	コミュニケーション技術	菅 遼
	生活支援技術	岩見 静
	介護過程	中田 千栄子
	介護総合演習	井上 恭子（医療的ケア）
	介護実習	
こころとからだの理解		
使用する教材	《教科書》 社会福祉基礎（実教出版） 介護福祉基礎（実教出版） コミュニケーション技術（実教出版） 生活支援技術（実教出版） 介護過程（実教出版） こころとからだの理解（実教出版） 《副教材》 最新 介護福祉士養成講座（中央法規出版）	

教材	実習用モデル人 (2) 人体骨格模型 (1) 成人用ベッド (11) 移動用リフト (1) スライディングボード (3)、スライディングシート (1) 車いす (14) 簡易浴槽 (1) ストレッチャー (2) 排泄用具 ポータブルトイレ (2)、特殊尿器 (10) 歩行補助つえ (16) 盲人安全つえ (3) 視聴覚機器 テレビ (1)、ビデオ (1)、プロジェクター (1) 障害者用調理器具 (1)、障害者用食器 (19) 和式布団一式 (1) 吸引装置一式 (2) 経管栄養用具一式 (10) 処置台 (11) 吸引訓練モデル (1) 経管栄養訓練モデル (1) 心肺蘇生訓練機材一式 (1) 人体解剖模型 (1)
介護実習施設等の名称 住所及び事業内容	別表 1 のとおり
介護実習の内容及び特徴	別表 2 のとおり
実績に関する情報	
卒業生の延べ人数	別表 3 のとおり
卒業生の進路状況	
その他の情報	
入学者、入学希望者の選択 に資する情報	学則のとおり

(別表 1) 介護実習施設等の名称住所及び事業内容

《令和 4 年 5 月 1 日 現在》

種別	名 称	設置者	所在地
介護老人福祉施設	愛寿荘	社会福祉法人愛寿会	松山市来住町
	アテナ	社会福祉法人アテナ会	松山市保免中
	梅本の里	社会福祉法人松山紅梅会	松山市北梅本町
	ガリラヤ荘	社会福祉法人愛隣会	東温市南方
	幸富久荘	社会福祉法人道真会	松山市富久町
	であい	社会福祉法人愛寿会	松山市余戸南
	ていれぎ荘	社会福祉法人慈光会	松山市水泥町
	砥部オレンジ荘	社会福祉法人砥部寿会	伊予郡砥部町大南
	白寿荘	社会福祉法人白寿会	松山市天山
	ハピネスさや家	社会福祉法人道真会	松山市南斎院町
	姫原特別養護老人ホーム	社会福祉法人愛媛県済生会	松山市姫原
	ゆうりん苑	社会福祉法人悠友会	松山市津吉町
	りつりん館アドバンス	社会福祉法人友朋会	松山市畑寺町
和光苑	社会福祉法人和光会	松山市井門町	
介護老人保健施設	高井の里	医療法人財団慈強会	松山市高井町
	たかのご館	医療法人聖光会	松山市鷹子町
	長安	医療法人順風会	東温市志津川
	とべ和合苑	医療法人光陽会	伊予郡砥部町北川毛
	菜の花	医療法人光佑会	伊予郡松前町神崎
	ハピネス椿	医療法人河原医院	松山市今在家
	れんげ荘	社会福祉法人白寿会	松山市東石井
老人福祉施設等	デイサービスセンター和泉	社会福祉法人白寿会	松山市和泉北
	デイサービスセンター玉泉	社会福祉法人エンゼル	伊予郡松前町北川原
	ミネルワステイ	有限会社 M&M	松山市南吉田町
	デイサービスほわいと	株式会社ほわいと	松山市北久米町
	デイサービス未来たかのご	株式会社よしまる	松山市鷹子町
高齢者グループホーム	あったか	社会福祉法人砥部寿会	伊予郡砥部町高尾田
	あゆみ	有限会社歩未	松山市北久米町
	おあしす	石井オアシス・ケアサービス 有限会社	松山市北久米町
	いしい	株式会社ヨシケンコーポレー ション	松山市北井門
	54 番地	株式会社スローライフ	松山市水泥町
	こころ	有限会社トータルケア果の実	松山市西垣生町

	じゃんけんぽん	株式会社モロコケア	松山市古川北
	すまいる	有限会社すまいる	伊予郡砥部町北川毛
	せと	医療法人たくま会	松山市余戸南
	つばきの里	医療法人椿クリニック	松山市古川北
	ファミリー立花	有限会社ジー・エル・ファミ ール	松山市立花
	やわらぎ	有限会社やわらぎ	松山市福音寺町
	やわらぎ川内	有限会社やわらぎ	東温市南方
	ひがし野	有限会社ノリテック	松山市畑寺町
	サンシティ北条	社会福祉法人白寿会	松山市下難波
障 が い 者 支 援 施 設 等	アイル	社会福祉法人親和会	松山市中野町
	いつきの里	社会福祉法人福角会	松山市福角町
	伊予なぎさ園	社会福祉法人朝凧会	伊予市森
	希望ヶ丘	社会福祉法人和泉蓮華会	伊予郡砥部町重光
	久谷	社会福祉法人親和会	松山市中野町
	三恵ホーム	社会福祉法人三恵会	東温市則之内
	スマイル	社会福祉法人金亀会	松山市余戸南
	つくし園	社会福祉法人松山手をつなぐ 育成会	松山市北吉田町
	道後ゆう	社会福祉法人愛媛県社会福祉 事業団	松山市道後今市
	はばたき園	社会福祉法人宗友福祉会	松山市中野町
	ひらい園	社会福祉法人完愛会	松山市平井町
	かなさんどう	社会福祉法人泰斗福祉会	松山市苞木

(別表2) 介護実習の内容及び特徴

(1) 介護実習の意義

- * 実践的介護技術の習得
- * 施設の機能的役割の理解
- * 利用者の課題とニーズの把握
- * 介護専門職の理解と現場理解
- * 社会福祉の対象者の理解

(2) 介護実習の目的

- * 学校において学習した介護に関する知識や技術と態度を相互に関連させて実習の場に活用し、創意工夫する能力を養う。
- * 地域の中での施設の役割を把握し、高齢者に対する理解を深めると共に、これからの高齢社会に対する在宅福祉サービスの意義についても学ぶ。

(3) 各学年における実習目的及び目標

【1年次】

介護実習「実習Ⅰ」の目的

デイサービス、デイケアのサービス提供現場を見学・体験し、高齢者の特性の理解を目指すとともに、人との関わりの重要性と専門職としての態度を学ぶ。

介護実習「実習Ⅰ」の目標

- * 施設の機能的役割を理解する。
- * 高齢者や障害を持つ人について理解する。
- * 講義・演習・校内実習で学んだ知識に基づいて、利用者の方との人間的な関わりを深め、コミュニケーションの重要性を理解し、コミュニケーション能力を養う。
- * 介護専門職の一般的な生活支援の概要を理解する。

【2年次】

ア. 介護実習「実習Ⅰ」

目 的

グループホーム、小規模多機能型居宅介護及び障害者（児） 支援施設の現場を見学・体験し、対象者の特性の理解を目指すとともに、利用者への接し方、基礎的生活支援技術（生活環境の整備・衣服着脱・食事・排泄・身体の清潔など）を習得する。

目 標

- * 施設の機能的役割を理解する。
- * 施設で生活する高齢者や障害がある人の暮らしと環境について理解する。
- * 講義・演習・校内実習で学んだ知識に基づいて、基礎的生活支援技術を習得し、提供できる。
- * 利用者や施設職員との関わりを通して、介護場面でのコミュニケーションの成立の重要性と技術を学ぶ。
- * 施設職員の一般的な生活支援の概要を理解する。

イ. 介護実習「実習Ⅱ」

目 的

介護老人福祉施設や介護老人保健施設を見学・体験し、対象者の特性の理解を目指すとともに、利用者への接し方、基礎的生活支援技術（生活環境の整備・衣服着脱・食事・排泄・身体の清潔など）を習得する。

目 標

- * 施設の機能的役割を理解する。
- * 施設で生活する高齢者や障害がある人の暮らしと環境について理解する。
- * 施設職員の一般的な生活支援の概要を理解する。
- * 利用者の状態を観察することができる。
- * 講義・演習・校内実習で学んだ知識に基づいて、基礎的生活支援技術を習得し、安全で快適な支援が提供できる。
- * 利用者や施設職員との関わりを通して、介護場面でのコミュニケーションの成立の重要性と技術を学ぶ。
- * 利用者を取り巻く情報から、その方の生活課題を考えることができる。

【3年次】

介護実習「実習Ⅱ」の目的

- * 介護老人福祉施設や介護老人保健施設を見学・体験し、対象者の特性の理解を目指すとともに、利用者への接し方、基礎的生活支援技術（生活環境の整備・衣服着脱・食事・排泄・身体の清潔など）を習得する。
- * 一定期間以上継続して実習を行う中で、受け持ち利用者について情報収集し、利用者の生活課題とニーズを把握し、利用者ニーズの理解力・判断力を養い、介護過程を展開する。実習での体験を通じ、専門的・計画的に介護サービスを提供できる能力を身につける。

介護実習「実習Ⅱ」の目標

- * 施設の機能的役割を理解する。
- * 施設で生活する高齢者や障害がある人の暮らしと環境について理解する。
- * 施設職員の一般的な生活支援の概要を理解する。
- * 利用者の状態を観察することができる。
- * 介護に必要な情報が収集できる。
- * 情報の解釈と関連づけができ、生活課題が明確にできる。
- * 利用者や他職種とともに介護計画が立案できる。
- * 講義・演習・校内実習で学んだ知識に基づいて、基礎的生活支援技術を習得し、利用者の安全性、快適さ、自立に配慮した介護が実践できる。
- * 利用者や施設職員との関わりを通して、介護場面でのコミュニケーションの成立の重要性と技術を学ぶ。
- * 個別ケアの意味を理解し、実践する。
- * 他職種協働・連携の重要性を理解し、援助活動に活かす。

(別表 3) 卒業生の延べ人数及び進路状況

* 卒業生の累計は、平成 21 年度（福祉系高等学校として指定）入学生以降の人数

卒業年度	進路状況							卒業生数	卒業生数 (累計)	
	居宅サービス事業所等	介護保険施設	障害福祉サービス事業所	障害者支援施設	その他の福祉施設	医療機関	他産業			進学その他
H23 年度	8	8		2		3	2	6	29	29
H24 年度	10	15				3	2	10	40	69
H25 年度	2	10		3		2	1	7	25	94
H26 年度	4	12		1	1	2	5	1	26	120
H27 年度	20	2	1	1		1	5	6	36	156
H28 年度	3	4		2	1	3	2	11	26	182
H29 年度	9	8		5		1	2	2	27	209
H30 年度		12		1		1	6	4	24	233
R1 年度		14		2			2	6	24	257
R2 年度	9	12		3		2	2	8	36	293
R3 年度	1	11		2		1		9	24	317